

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社えがおホールディングス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
組織・ 公正な取 引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営者より、会社のあるべき姿を従業員に朝礼 と社内報にて説明し共有している。 ・経営理念を基に会社のあるべき姿の実現に向け、経営計画書を作成し、 全従業員に配布。												8	9						17				
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組み を構築している。	●		・法令遵守の規程とマニュアルがあり、社内ポータルサイトにて、法令遵 守の重要性を、全従業員に向けて発信している。 ・コンプライアンス研修等を随時実施し、従業員への啓発を行ってい る。																			16				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・社内ポータルサイトにて、法令遵守の重要性を、全従業員に向けて発 信している。																10				16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署など の体制を整備している。	●		・担当者および責任者(担当役員)を任命し、自らの事業活動が、社会・ 環境に及ぼす正と負の影響(可能性)を把握している。																			16				
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの侵害排除について、規程を設け、社内ポ ータルサイトにて発信している。 ・知的財産に関する研修や勉強会を実施している。									8.2	9													
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・研修会を開催するなど、情報漏洩防止を徹底している。 ・退職時、守衛にて荷物チェックを実施。 ・情報セキュリティに関するPJを立ち上げ、随時対策を策定している。																			16				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホル ダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消 費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客アンケートを定期的に実施し、全社へ展開している。 ・顧客相談窓口を設置している。																			16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生 態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・ 贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		ビジネスパートナーへのアンケートを毎年1回実施し、弊社の対応等の 意見を頂き、随時改善を行っている。					5							8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP) を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		熊本地震の教訓を活かし、各施設にて年に1回の防災訓練の実施。 また各部署にてBCPマニュアルを作成し、随時見直しを行っている。															9			11		13.1		16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		後継者の指導・育成に取り組んでいる。													8	9							17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2				5							8						12	13	14	15	16
労働・ 人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを 防ぐ体制を整備され、社内にて差別や人権侵害がないことを確認してい る。	●		・履歴書の性別や学歴などの削除。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置してい る。					4.3	5.1						8.5			10.2						16.1		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り 組んでいる。	●		心の健康を確保するために、安全衛生委員会を立ち上げ、職場での心 理的な安全実現に向けた環境づくりを行っている。						3						8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応してい る。	●		福利厚生などで雇用形態による格差が生じないよう、公正な待遇を 行っている。						5.5							8.5			10.2						10.3	
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の 両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・託児所や保育園を建設。 ・家庭との両立を図るためにリモートワークや時短勤務を推奨。 ・子供の長期休暇時には学童保育を実施している							3						8.5			10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための教育を実 施 ・従業員ハスキルアップのための動画などを配信している。													8		9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向 上等に取り組んでいる。	●		・健康経営推進委員会を立ち上げ、従業員への健康維持向上を呼び掛 け。 ・社屋内にトレーニングジムを設置し、無料開放。 ・食堂メニューのカロリー表示。													8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍でき る環境の整備に取り組んでいる。	●		社屋は多目的トイレやエレベーターの設置、及び段差のない通路などバ リアフリーをういた設計である。													8.5			10.2					16.7	10.3	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレ ワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・テレワーク、ウェブ会議の推奨 ・ソーシャルディスタンスの確保・施設利用制限・外部との接触制限 ・出張制限・大人数での会議の禁止										3			8	9.1			11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により 業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・全社員へノートPC配布により、テレワークの促進 ・捺印申請など承認・決裁関連をすべて電子化														8	9.1			11	12				
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																8	9					12			

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社えがおホールディングス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		お客様にお送りする際の発送箱等、環境に配慮した資材を使用している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・2020年月平均電力使用量:340kw ・一部節電器具の取り入れ。 ・節電を心掛けるよう発信している。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・2020年月平均CO2排出量:3,708.86kg ・エアコンの設定温度の適正管理 ・節電推奨による排出量削減			2.4				7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		環境に配慮した資材を使用している。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ごみの分別及びペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		社屋設備に節水器具を設置している。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		名刺、商品発送箱に再生紙を使用している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		社内食堂にてメニューの削減や人員管理の徹底により、食品ロス率が12.9%から8.5%まで削減。	1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー利用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・太陽光パネルを設置し、社屋の節電に取り組んでいる。 ・節電を心掛けるよう全社員へ発信している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・社屋内に駐輪場を確保し、自転車推奨。 ・貸し出し用の自転車を準備。 ・社屋より徒歩10分圏内に社員寮を設置し、徒歩を推奨。									9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社えがおホールディングス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・提供するサービスの質を確保するため、相談センターを設置。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		社屋は多目的トイレやエレベーターの設置、及び段差のない通路などバリアフリーを用いた設計としている。									9.1	10	11.7							17
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	フレイル予防の運動法等、健康情報を会報誌にて消費者に発信している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・災害ボランティアの実施 ・社員より寄付金を集め、えがおより県内社会福祉協議会へ車椅子寄贈 ・社員より寄付金を集め、えがおより県内小学校へ紙芝居寄贈 ・えがおと連携し、新型コロナウイルスに伴う、医療従事者、障がい者施設、留学生への支援活動実施	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		熊本地震の教訓を活かし、各施設にて年に1回の防災訓練を実施。また各部署にてBCPマニュアルを作成し、随時見直しを行っている。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・災害時、自社を避難所として開放している。 ・各施設へAEDを設置している。	1.5			3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・大学生のインターンシップを、積極的に受け入れている。 ・高校生の社内見学の受け入れを実施している。				4					8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の学生を積極的に雇用している				4.4				8.5 8.6										17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。